

タイ・その他

UATHの第3期投資が完了し、本格稼働開始。 需要回復期に向けて、生産力向上へ



事業環境認識

強み (Strengths)

- 需要伸長が見込まれるアジア圏へのアクセスの良さ
- 東南アジア唯一の最新鋭設備と32万トン/年の生産能力
- 日本で培った品質管理
- 日系企業をはじめとした製缶メーカーとの長年にわたる関係

機会 (Opportunities)

- 経済成長にともなう旺盛なアジア圏の需要
- 脱プラスチック化の進展による北米・欧州などへの輸出機会の拡大

弱み (Weaknesses)

- 現地オペレーターへの技能伝承の難しさ

脅威 (Threats)

- 中国企業による低価格攻勢
- 貿易摩擦や政治的判断にともなう高関税

2019年度の概況

東南アジア地域の主要拠点UATH*では、第3期の増強投資による設備が2019年7月に立ち上がりました。これによって、その前月に14,000トンであった月産数量が18,000トンに、10月以降は23,000トンへと大幅に増加しました。そして、生産量の増加に合わせて販売量も増加しました。また、10月～12月には四半期での営業黒字を初めて達成しました。操業・運営の面で、オペレーターを含めた現地化が進み、多くのタイ人マネージャーが育ってきたことが大きな要因です。このような進展が見られたことから、UATHでは前年度から経常利益16億円増の業績改善となりました。

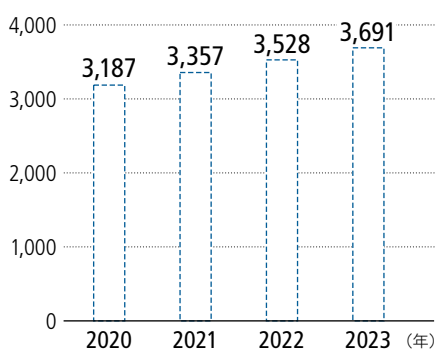
* UACJ (Thailand) Co., Ltd.

今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、東南アジアの経済活動は制限されています。主力商材の缶材の需要も、都市部のロックダウンと酒類販売禁止などの影響によって低調に推移。制限緩和後も観光客数減少などの影響で景気低迷が見込まれることから、缶材需要が再び成長トレンドに戻るのには2022年度以降と予想しています。

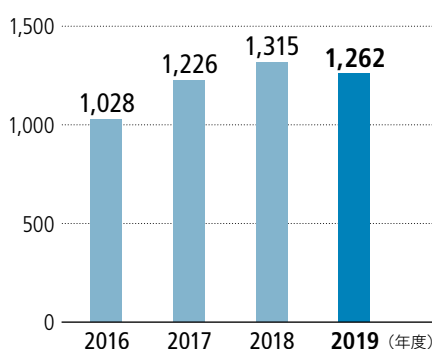
UATHでは、需要回復期に確実に販売数量を増大できるよう、増産した生産力のフル活用を図ります。直接販売機能強化による新規顧客獲得と価格改定、長期契約の獲得、販売地域の拡大を図り、早期に黒字化することを目指します。また、タイ政府などによる缶材リサイクルキャンペーン「CAN to CAN JOURNEY」にも積極的に関与し、需要拡大を後押しします。

缶材消費量(タイ・その他)の予測 (千t)



出典：CRU Aluminium Rolled Products Market Outlook May 2018

売上高(タイ・その他)の推移 (億円)



UATHの年間販売量の推移と予測 (千t)

